

事業の背景・目的

・福井県南越前町の「夜叉ヶ池」に生息する「ヤシャゲンゴロウ」は、国内希少野生動植物種に指定されている日本固有種です。平成18年に「ヤシャゲンゴロウを育てる会」が発足し、町内施設で飼育下繁殖事業に取り組んできましたが、平成28年に解散し、町内における事業継続が困難になりました。現在では、町外施設で飼育（生息域外保全）されており、町では、平成30年に逝去された同会の奥野会長監修のもとと製作された説明パネルを活用し、町内施設における移動展示や、小中学校の総合学習で普及活動に取り組んできました。今後も、これまでの活動を活性化させ、地域の貴重資源である「ヤシャゲンゴロウ」の保全の関心を一層高める取組みをしていく必要があります。

事業の内容

・「夜叉ヶ池」に生息する「ヤシャゲンゴロウ」が地域の貴重資源であり、後世に継承すべき“宝”として普及する活動を官民協働で展開し、その保全活動の活性化と体制の強化を目的とし、テーマを「自然と歴史に学ぶ人の生き方」とした環境学習会を開催します。

事業名「ヤシャゲンゴロウ保全・普及啓発 環境学習会事業」

・国の登録有形文化財に指定されている昭和会館で、ヤシャゲンゴロウの域外飼育に携わる福井県自然保護センター職員を講師とした講演及び地元団体であるNPO法人今庄旅籠塾による夜叉ヶ池伝説を題材とした現代版紙芝居を盛り込んだ環境学習会を開催しました。



新型コロナウイルス感染症の拡大から、参加者を町内4小学校の6年生を限定とし、メイン会場である昭和会館での参加者を今庄小学校6年生、南条・湯尾・河野小学校6年生は、それぞれの小学校からリモート接続により双方向で視聴・質疑応答できる講演会としました。



得られた成果

・当初は、「夜叉ヶ池」及び「ヤシャゲンゴロウ」の保全活動や飼育下繁殖事業に対する理解と協働を喚起するため、地元の小中学校をはじめ、町内外に広くフォーラムの開催を周知し、参加を呼びかけることとしていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大から、講演者をリモート出演とし、メイン会場である昭和会館での参加者を一部招待者に限定すること、中学1・2年生を対象としたサテライト会場に南条文化会館を設定することとし、3会場をリモート接続により双方向で視聴・質疑応答できる講演会としたため、より多くの参加者を設定することができました。

また、一般の参加を希望する町民については、町内CATVで放送することにより、在宅ながら講演を視聴することが可能であり、普及・啓発活動の喚起を促すことができました。